

## スプレー缶類収集のルール変更について

### 1 ルール変更までの経緯

#### (1) 排出方法を見直した理由

- ア スプレー缶類の穴あけによる爆発・火災事故により、平成26年3月に中央区1名、平成27年5月に南区で2名の市民が亡くなっていること。
- イ 指定ごみ袋に混入した中身が残っているスプレー缶類が原因とみられる収集車両火災が毎年50件以上発生していること。
- ウ 市民アンケートにおいて、穴あけしていない人の理由では「穴あけが面倒・危険(57%)」また、穴あけに協力していても「穴あけに不安がある(38%)」といった結果が出た。
- エ 環境省では、穴あけなしを推奨していること。

#### (2) 変更内容について

- ア 変更前 「穴あけあり」「燃やせないごみの日」  
↓  
↓
- イ 見直し後 「穴あけなし」「燃やせるごみの日」

#### (3) モデル地区収集について

##### ア 内容

全市実施に当たって、排出量や新しいルールの協力度の基礎資料とするため、平成27年10月に清田区の一部をモデル地区とし、平成28年4月にモデル地区を清田区全域へと拡大して検証実験を実施した。

- イ モデル地区での実施状況〈抽出調査(戸建・共同住宅・高層住宅地区)〉  
ルールが守られ全て「使い切って」「穴をあけず」「別袋」で排出されている(有料指定袋への混入は見られなかった)。

#### (4) 排出ルール変更の全市実施時期について

モデル地区での良好な結果を受け、平成29年7月から全市的にルールを変更した。

### 2 ルール変更後の結果

清田区のモデル事業の実績から当初2週間の排出量が多いことを懸念していたが、排出量の実績が想定量を下回り、懸念していたような収集作業の遅延やごみステーション管理の負担増は起こらなかった。

また、スプレー缶類排出ルール変更後、スプレー缶類の穴あけ事故は発生しておらず、車両火災件数の平成29年度7月～3月までと平成28年度の同時期を比較すると、車両火災件数のうちスプレー缶類を原因とするものは39件から13件へと26件減少している。

ごみ収集車の

# 火災をSTOP!!

主な火災の原因は…  
スプレー缶・  
カセットボンベ!



正しいごみ出しで火災をSTOP!

## 1 出し方は…

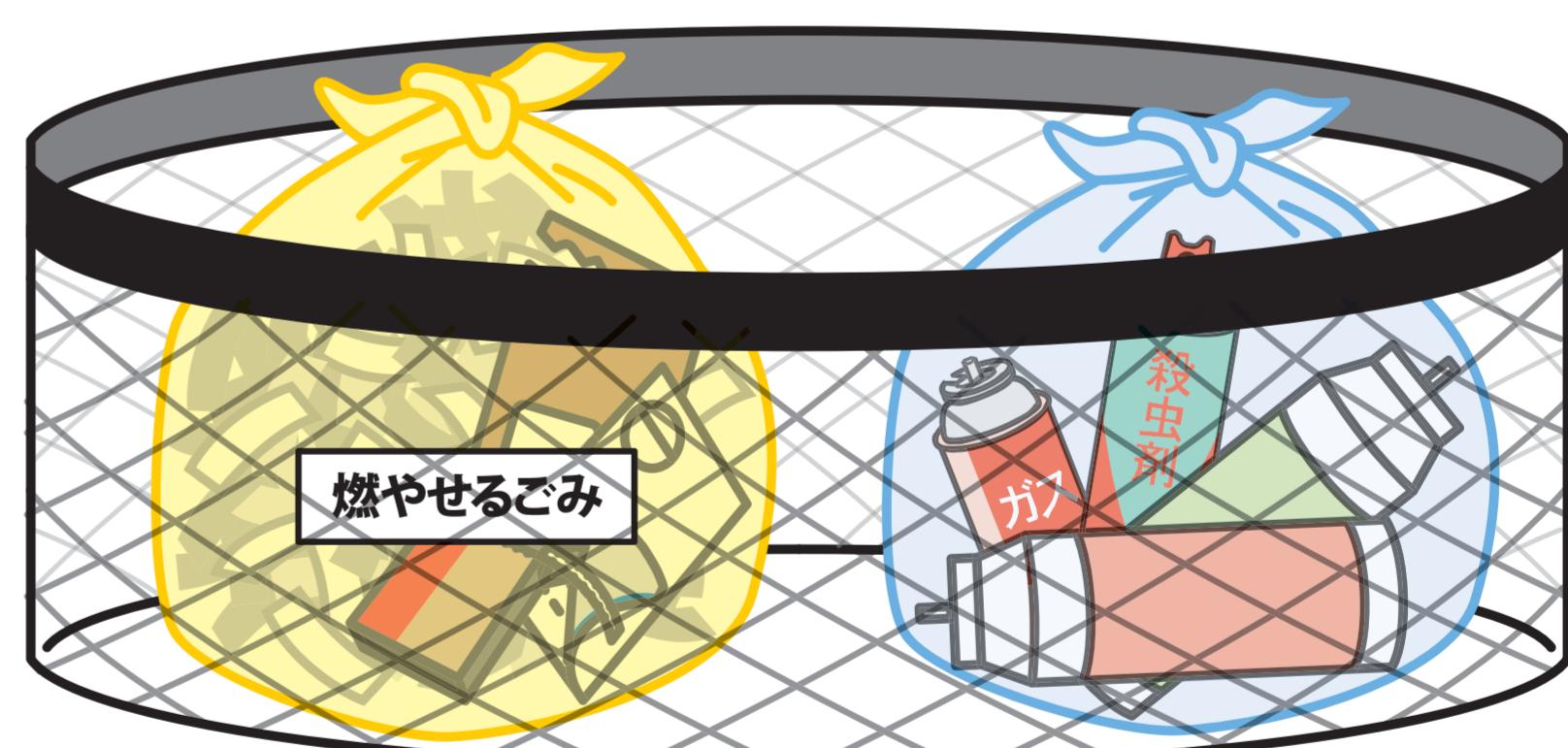
中身を使い切って、  
**穴をあけずに**  
透明または  
半透明の  
袋に入れ



ごみステーションに!!

## 2 出す日は…

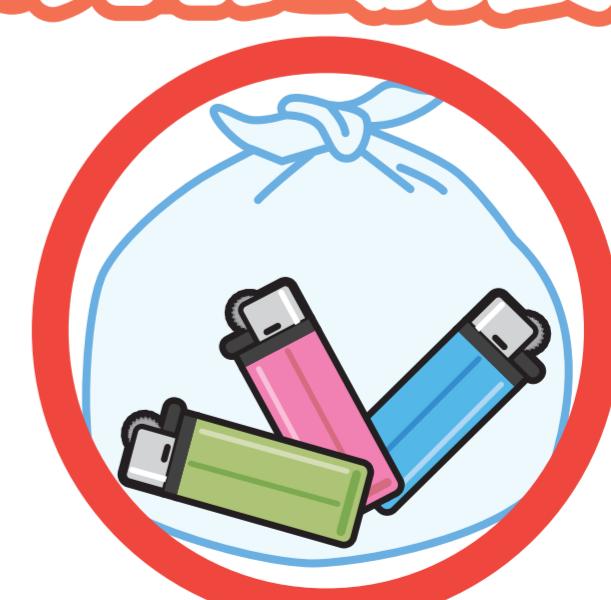
**燃やせる  
ごみの日と同じ日**



もう1つの  
火災原因…  
ライター!



**燃やせないごみの日に別袋で!**



正しいごみ出しでまちをキレイに安全に!

札幌市環境局

SAPP  
-RO

